



こんにちは、岡田よしひでです

2022年10月2日発行
県議会活動報告ニュース
NO.139

自宅 南国市浜改田 430-1
TEL/FAX 865-2932
携帯 090-4337-4527

岡田よしひで事務所 864-2426 南国市駅前町 2-5-11 県議会共産党控室 823-9524 高知市丸ノ内 1-2-20

統一協会との接点調査は不十分

本県と統一協会との接点について、県が調査対象にした団体は10団体でした。日本共産党は28日、米田稔議員の代表質問で、1981年に統一協会の教祖が提唱した「日韓トンネル構想」にかかわりのある団体「日韓トンネル推進全国会議」「日韓海底トンネル推進議員連盟」「国際ハイウェイ財団」などが軒並み調査対象から外された理由を質しました。総務部長は、「他県調査を参考に」したとして明確に答えませんでした。全国霊感商法対策弁護士連絡会の渡辺博弁護士は、教団が「『日韓トンネルを造るため』という名目で多大な献金を集めてきた。億単位の被害者はいくらかでも



五台山の展望テラス (9月27日)

統一協会との関係を断つという立場に立つならば、同氏をアドバイザー会議のメンバーから外す必要があると質しました。知事は、「溝畑氏が講演に至った経緯や内容、さらには財団との関り等が適切であったかどうかについて申し上げる立場にはないと答えました。

います」と述べています。消費者金融から借り入れて、3億7千万円をだまし取られた事件も起きています。この構想を推進しているのが、「国際ハイウェイ財団」。会長は梶栗正義（かじくり・まさよし）氏で、統一協会関連団体である国際勝共連合、世界平和連合などの会長も努める統一協会の最高実力者の一人とされる人物です。

この財団は、「日韓トンネル」推進の講演会を全国各地で開催していますが、大阪観光局の溝畑博（みぞはた・ひろし）理事長が確認されただけで16回講演しています。溝畑氏は、本県が関西戦略をすすめるために設置した関西・高知経済連携強化アドバイザー会議の中心人物の一人です。

憲法違反の「国葬」になぜ出席

反対世論が高まるなか、安倍元首相の「国葬」が27日、日本武道館で執り行われ、濱田知事、明神議長が参列。「国葬」に法的根拠はなく、国会にもはからず、閣議決定だけで強行。安倍氏を特別扱いするのは憲法14条、（法の下の平等）、国民全体の儀式とするのは憲法19条（思想及び良心の自由）に違反します。なぜ参列したのか。知事は、賛否が分かれた状況は承知しているが、総理大臣を長く務め、蛮行によって命を奪われたことを踏まえ、出席することにしたと答えました。

おむすび通信 (139)

五台山の展望テラスへ行ってきました。閉鎖された展望台の南隣に設置されています。県は産業振興土木委員会で、耐震基準を満たしていないが、牧野博士の「朝ドラ」が決まったので活用したいと説明。私は、安全が第一、基準を満たさず解体が予定されている施設を使わず、やぐらなど展望施設を設置してはと提案していました。今議会には民間参入での新施設整備計画が提出されています。